

平成 28 年度

決 算 報 告 書

第 13 期事業年度

自 平成28年 4 月 1 日

至 平成29年 3 月31日

国立大学法人 東京芸術大学

平成28年度 決算報告書

国立大学法人東京芸術大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,800	4,876	76	(注3)
施設整備費補助金	675	136	△ 539	(注12)
補助金等収入	131	303	172	(注4)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27	27	0	
自己収入	2,186	2,410	224	
授業料、入学金及び検定料収入	2,051	2,156	105	(注5)
雑収入	135	253	118	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	522	2,206	1,684	(注7)(注8)
引当金取崩	-	0	0	(注9)
目的積立金取崩	-	12	12	(注10)
計	8,342	9,974	1,631	
支出				
業務費	6,986	6,942	△ 43	
教育研究経費	6,986	6,942	△ 43	(注1)(注11)
施設整備費	702	163	△ 539	(注15)
補助金等	131	303	172	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	522	982	459	(注2)(注14)
計	8,342	8,392	49	
収入－支出	-	1,582	1,582	

○損益計算書の計上金額と決算金額の集計区分の相違の概要

(注1) 損益計算書に計上されている役員人件費、教員人件費及び職員人件費は、決算報告書上、教育研究経費に含めて表示されています。その概要は以下のとおりであります。

役員人件費	70百万円
教員人件費	4,101百万円
職員人件費	1,027百万円

(注2) 寄附金に係る経費は、固定資産取得に係るものを除き損益計算書上、それぞれの経費として計上されていますが、決算報告書上、産学連携等研究経費及び寄附金事業費等に表示されています。その概要は以下のとおりであります。

教育経費	119百万円
研究経費	89百万円
教育研究支援経費	7百万円
教員人件費	9百万円
職員人件費	1百万円
一般管理費	10百万円

○予算と決算の差異について

(注3) 運営費交付金については、追加配分された金額を含んでいるため、予算金額に比して決算金額が76百万円多額となっております。

(注4) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった補助金の交付を受けたことにより、予算金額に比して決算金額が172百万円多額となっております。

(注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、在籍者数の増加、入学金及び検定料の値上げにより、予算金額に比して決算金額が105百万円多額となっております。

(注6) 雑収入については、財産貸付料収益の増加等により、予算金額に比して決算金額が118百万円多額となっております。

(注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究費等の受入増加及び寄附金の受入増加のため、予算金額に比して決算金額が1,684百万円多額となっております。

(注8) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等の予算では、特許権及び著作権に係る収入が予算金額として3百万円計上されておりますが、決算においては雑収入に決算金額5百万円を計上しており、その差額は1百万円であります。

(注9) 引当金取崩については、予算段階では予定していなかった退職給付引当金の取崩を行ったため、予算金額に比して決算金額が0百万円多額となっております。

(注10) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していなかった事業を実施したため、予算金額に比して決算金額が12百万円多額となっております。

(注11) 教育研究経費については、経費の削減に努めたため、予算金額に比して決算金額が43百万円少額となっております。

(注12) 施設整備費補助金については、繰越を行ったため、予算金額に比して決算金額が539百万円少額となっております。

(注13) (注4)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が172百万円多額となっております。

(注14) (注7)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が459百万円多額となっております。

(注15) (注12)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が539百万円多額となっております。